

令和3年10月15日（金）

県庁第一別館10階教育委員室（オンライン）

令和3年度県立学校長研究協議会の開会に当たり、御挨拶を申し上げます。

本日は、昨年度に引き続きオンラインで開催することとなりました本会に、県立学校はもとより、国・私立学校からも、学校長の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、今般のコロナ禍の下、感染症対策と教育活動の両立に心を砕き、生徒の学びを保障するための取組を、教職員一丸となって、着実に進めていただいております。その御努力に深く敬意を表し、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年1月に中教審から、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～が答申されました。この答申では、新時代に対応した高等学校教育等の在り方についても言及されており、各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針、いわゆるスクール・ポリシーの策定や、普通教育を主とする学科の弾力化・大綱化、産業界と一体となって地域産業界を支える革新的職業人材の育成等、高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化が求められています。

スクール・ポリシーに関しては、「育成を目指す資質・能力に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」を各校において策定し、公表することとなっております。

その策定に当たっては、各校長がリーダーシップを発揮しながら、全教職員が当事者意識を持って参画することに加え、「社会に開かれた教育課程」の実現のためにも、在籍する生徒をはじめ、保護者、地域住民等の意見も踏まえながら、検討を進めていくことも重要です。

各校におかれましては、スクール・ポリシーを起点としたカリキュラム・マネジメントを適切に行い、教育課程や個々の授業等について組織的かつ計画的に実施するとともに、PDCAサイクルを通じて不断の改善を図っていただきますようお願いいたします。

こうした国の動向を受け、県教育委員会では、今年度の重点取組事項の一つとして、「県立学校振興計画」を掲げ、生徒にとってよりよい教育環境を実現するとともに、県立学校等が、社会を支える人材の育成拠点として、更には地域活性化の核として、その役割を果たせるよう、圏域ごとの地域協議会等を通じて、地域の声をくみ取りながら、振興計画の策定及び魅力化推進に取り組んでいるところです。

また、各校に配備した、1人1台端末については、今年3月に策定した「愛媛県ICT教育推進ガイドライン」に基づき、感染症対策や自然災害等の緊急時においても、即座にオンライン学習を開始できるよう、平時から日常的に活用するとともに、授業改善に取り組む教職員のネットワーク化を推進できる組織体制の在り方についても、より一層の研究を進めていただきますようお願いいたします。

本日は、この後、兵庫教育大学大学院の浅野良一（あさの りょういち）特任教授に、学校組織マネジメントの実践について御講演いただくと伺っております。各校における、今後の学校経営の改善・改革への一助としていただきたいと思いますと考えております。

最後になりますが、皆様方には、引き続き、新しい時代の学校経営の在り方について研究を深めていただき、地域に愛され、信頼される学校づくりに、御尽力いただきますとともに、業務改善にも努めていただき、日頃からの面接や声掛けによって、一人一人の教職員の働き方に配慮した、働きやすい職場づくりに取り組んでいただくようお願いいたします。

本日の研究協議会が実り多いものとなりますことを祈念いたしまして、挨拶といたします。